

高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会  
第9回 議事要旨

日 時：令和6年1月12日（金）15:30～17:00

場 所：AP日本橋 会議室B・C

出 席：

委員長 藤野 陽三 （城西大学 学長）  
委 員 太田 秀樹 （中央大学 研究開発機構 機構教授）  
宮川 豊章 （京都大学 名誉教授）  
西村 和夫 （東京都立大学 名誉教授）  
秋葉 正一 （日本大学 生産工学部 教授）  
八木 茂樹 （東日本高速道路（株）管理事業本部長）  
中井 俊雄 （中日本高速道路（株）保全企画本部長）  
小笹 浩司 （西日本高速道路（株）保全サービス事業本部長）  
ワグナーバー 河村 英知 （（独）日本高速道路保有・債務返済機構 企画部長）

議事：

1. 委員会での審議事項及び開催履歴
2. 東・中・西日本高速道路の更新計画について（案）
3. 新たな更新計画（案）の具体について

主な意見：

1. 第8回委員会での中間とりまとめ以降、更新が必要な対象構造物の選定フローと、具体的な施工方法について、NEXCO 東・中・西日本会社が作成した更新計画により確認を行った。
2. 2050年カーボンニュートラル実現、また2030年の温室効果ガス削減に向け、更新事業も含めたライフサイクルコストの最小化とあわせて、低炭素化にむけた取組みも必要である。
3. 土構造物については、自然相手のため変状の原因を直ちに特定することが難しい。そのため、新たな検査・モニタリング技術の開発や、十分な調査・分析の実施・検討を更に進めていくべきである。
4. 今後も継続して実施していく定期点検や最新技術を用いた詳細調査により、今回の更新計画以外の新たな変状や劣化メカニズムが判明することも想定される。そのため、長期保全及び更新のあり方について、引き続き、検討していく必要がある。

以 上